

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公開番号】特開2006-36106(P2006-36106A)

【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-006

【出願番号】特願2004-221400(P2004-221400)

【国際特許分類】

B 6 0 R 25/02 (2006.01)

E 0 5 B 65/12 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 25/02 6 2 0

E 0 5 B 65/12 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月3日(2009.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ステアリングシャフトの外部を覆う被固定部材に固定されるケース本体と、

前記ケース本体に固定される蓋体と、

前記ケース本体と前記蓋体に収容可能とされると共にアクチュエータの駆動又は手動操作に連動する機構部と、

前記機構部の作動によりステアリングシャフトに係脱可能としたロック部材と

を備えたステアリングロック装置において、

前記ケース本体の被固定部材側の側壁を貫通するように該ケース本体の外側から該ケース本体内側へ挿入される第 1 締結体と、

前記蓋体の内面に設けられた第 2 締結体とを備え、

前記第 1 締結体と前記第 2 締結体とを締結することにより前記ケース本体と前記蓋体とを互いに固定するようにしたことを特徴とするステアリングロック装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

上記問題点を解決するために、請求項 1 に記載の発明は、ステアリングシャフトの外部を覆う被固定部材に固定されるケース本体と、前記ケース本体に固定される蓋体と、前記ケース本体と前記蓋体に収容可能とされると共にアクチュエータの駆動又は手動操作に連動する機構部と、前記機構部の作動によりステアリングシャフトに係脱可能としたロック部材とを備えたステアリングロック装置において、前記ケース本体の被固定部材側の側壁を貫通するように該ケース本体の外側から該ケース本体内側へ挿入される第 1 締結体と、前記蓋体の内面に設けられた第 2 締結体とを備え、前記第 1 締結体と前記第 2 締結体とを締結することにより前記ケース本体と前記蓋体とを互いに固定するようにしたことを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(作用)

請求項1に記載の発明によれば以下に示す作用を得る。ケース本体の被固定部材側の側壁を介して該ケース本体の外側から該ケース本体内に挿入された第1締結体と、蓋体の内面に設けられた第2締結体とが締結されることによって、蓋体はケース本体に固定される。この状態において、ケース本体は被固定部材に固定される。よって、第1締結体の取外しは被固定部材により阻まれると共に外部から第1締結体及び第2締結体は目視不能となる。そのため、第三者による蓋体の取外しは困難となり、セキュリティ性が確保される。さらに、蓋体の外側から例えばボルトを挿通してケース本体に締付けることにより該蓋体をケース本体に固定するようにした場合と異なり、セキュリティ性の確保のためにボルトの頭部を例えばカバーにより覆うことで保護する必要もない。このため、部品点数が低減する。また、第1締結体と第2締結体とを締結するだけで蓋体をケース本体に固定することができる。このため、ステアリングロック装置の組立作業効率が向上する。